

どんぐり村の こみ・すく通信

令和4年10月11日発 令和4年度 第14号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その9> 自分らしいよいよい生き方を目指して

9月14日、更別中央中学校1年生が「さらべつほーぷ」の方々に来校いただき、「伝えたいことを上手に伝えるコミュニケーション」について学びました。

今回は、ほーぷの三浦さん(保健師)が中心となり他のメンバーと一緒に授業を進めました。

自分の考えを書く、グループで話し合うなど、たくさん学習活動を行いました。



感想から「自分は弱気タイプだから、はっきりタイプになれるようにあたたかい言葉かけを上手に使ってよいコミュニケーションをとっていきたい。」

【授業の流れ】

- ほめられるとうれしいことを体験。言われてうれしい言葉を考えて、相手をほめよう。自分をほめることも大事。
- 相手の気持ちを考えた上で、自分の気持ちを伝える「はっきりタイプ」のコミュニケーションができるようにしましょう。
- あたたかいことばかけをしてみよう。

福祉体験授業 車椅子から

9月20日、更別小学校4年生が社会福祉協議会の野々村さん、中野さん、小丹枝

さんに来校いただき、「車椅子」を体験する「福祉」の授業をしていただきました。



いきなり加速すると怖い！声をかけて。



社会福祉協議会から車椅子を持ち込んでいただき、グループに分かれて体験をしました。

車椅子の体験をすることによって、乗っている人の身になって声かけや車いすを押してあげることを学びました。

末広学級生、祖父母との交流 3年ぶり

9月28日、上更別小学校全校児童が村の末広学級生と祖父母に来校いただき、パラスポーツの「ポッチャ」に一緒に取り組みました。支援してくださったのは、社会福祉協議会の皆さん、またコミュニティナースの方も参加しました。

チームに分かれて、白いボールにどれだけ近づけることができるかを競いました。みんなで簡単にできるスポーツなので、楽しく盛り上がっていました。



少しでも白いボールの近くへ転がす。



開閉会式の司会は、3、4年生が立派に行いました。

保育体験 どんぐり保育園児との交流

9月22日、更別中央中学校3年生が家庭科でどんぐり保育園を訪れ、保育体験をしました。幼児との触れ合いをとおして幼児の特性を知り、保育について学習を深めました。

中学生が随所で幼児に寄り添う姿をうかがうことができました。

